

平成24年度 第2回児童館運営委員会 会議録

日 時	平成24年2月16日(木) 午前10時開始
場 所	大城児童館2階 多目的室
参加者	<p>【運営委員】 山盛英二 伊木祥子 増田千文 丹羽孝糸 奥田志津賀 暮石定美 倉知俊夫 沖本喜久江 福永有可子 山下美和</p> <p>【事務局】 舟橋部長 倉知課長 丹羽指導保育士 須崎課長補佐 鈴木センター長 丹羽館長 倉知館長 波多野館長 長谷川館長 佐尾山館長 山本館長 坪井館長 永井係長 益村担当</p>
	【欠席者】 無
	【傍聴人】 無
司会	倉知課長
1 あいさつ 委員長	<p>・まだまだ寒い日が続いています。各小中学校ではインフルエンザが流行していましたが、少し落ち着いてきたようで、中3は受験が始まりますのでよかったですと思います。</p> <p>4月から少年センター所長を務めています。相談業務が12月末までに117件ありました。子どもは成長過程で多くを学んでいきますが、親がその機会を奪ってしまうため、子どもが育たず、自分で判断することができないようです。そういった内容の人間関係の相談が多くなっています。家庭内暴力の相談では、小中学校の時はよい子だったのに高校一年の10月から、突然暴れだしたという相談もありました。話を聞いていると母親が手をかけすぎている傾向があり、本人を信じて任せる機会を多くしたらどうですかと伝えました。</p> <p>また、骨折した生徒が状況を周りにうまく伝えられずに、いじめにあったという相談がありました。体験させる時に体験させていないのでなかなか子どもが育たず、こういった弊害がでてきています。その中で児童館の役割には意義があります。家庭や学校と違った場所で、子ども同士がある程度自由さをもちながら活動や体験をしていくことは、成長していく中で大切な位置を占めていると思います。児童館では、小中学生を積極的に取り入れて活動している現状を見させていただいております。本当にありがたいと思いながら、健全育成の立場でいろいろ巡回し意向を伺いながら、自分たちも力をいれていきたいと考えています。子どもたちにとっていい形で児童館が運営できるような会になるとよいと思います。そんな立場で皆さんからご意見がいただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。</p>
部長	<p>・前回の会議は7月に行われました。今は寒い日が続き小牧市内でもインフルエンザの流行がありました。教育委員会等で聞くところ、落ち着いたようです。また岐阜県羽島市ではノロウイルスが広がっている様で引き続き各施設や児童館でも注意を払っていただいています。</p> <p>・小さい子どもの事件事故が後を絶たない昨今、お母さんがもう少し心配りをしてあげれば何とかならなかったのかと思います。子どもの成長は行政が児童館が一方通行のサービスの提供ではなかなかうまくいきません。自分の力で成長していける配慮を児童館の中で実践をしていきたいと思っております。新聞でご存知の方も見えると思いますが、小牧市は24年度の当初予算を発表しました。一般会計は518億円で、子育てを含む福祉の予算は、3分の1になってきています。過去9年連続して一番大きな割合を占めていますが、当然のことながら、高齢者の方、障がい者の方の施策も含めたもので、現在では群を抜いて福祉予算が比率が高くなってきています。</p> <p>・児童館関係につきましては、今年度から来年度の継続事業で、味岡児童館の建て替えをします。建物設計費を少し低くしすぎたことで、結果的に入札が8月に不調に終わって、その後検証する中で必要な予算を補正予算で確保し、去る2月8日に改めて入札を執行いたしました。なんとか入札が実施できまして、近いうちに市議会の方へ工事の請負契約の提案を出す予定です。味岡地区の各委員、関係者の皆様にご心配をおかけしましたこと、お詫びさせていただきます。3月末に契約、4月から着工、本年12月に完成し、実質オープンは来年1月中旬の予定です。</p> <p>・4月からは児童センターを除く児童館すべてが、指定管理者制度に移行します。各館、特色のある運営・子育て支援を実施していただけたと思っています。後ほど詳しく報告いたします。</p> <p>・本日の議事といたしましては、24年度からの各児童館・児童センターの活動方針・行事計画をご審議いただきたいと考えております。</p>

2 報告	(1)平成23年度児童館の現状報告(資料1-1~8)・・・別紙報告 (2)平成23年度児童館利用状況について(資料2)・・・別紙報告
児童センター 委員長	・個人任意利用者数の西部と大城が同じ数字になっています。後日正しいものを送ります。 ・いろいろな方に利用してもらいたと思いますが、来館者は同じ方が何度もいらっしゃるのか、いろいろな方が来てくださるのか、どのような傾向がありますか。
小牧南児童館	・クラブの利用者とちびっこなど2歳半までの小さい子の親子が多いです。 同じ方と、リピーターの方と半々ぐらいだと把握しております。
西部児童館	・イベントの7割は市外の人です。普段は市内と市外は半々ですが、イベントは混雑するので市内の方は敬遠されています。
委員	西部は市外の方が多いいということですが、他の児童館でも同じ状況がありますか。
大城児童館	・春日井市の方が、隣接していることや児童館の数が少ないので多く利用されます。
児童センター	・プラネタリウムを併設しているため、休みの日など市外の方が待ち時間に遊んでいかれます。
副委員長	・地域との連携として、篠岡や大城児童館は年に何回か運営協議会が開かれています。 どの児童館にもいえることですが、地域に馴染んで地域に協力していただかないと、運営上なかなか難しいものがあると思いますが、児童館として地域の小学校や区長、民生委員へはどのような働きかけをしていますか。
西部児童館	・コミュニティ施設がありますので、地域運営協議会と連絡を取っています。
児童センター	・今までの経過からみてそのような体勢が出来ていないので難しいものがあります。
味岡児童館	・運営協議会はありませんが、中学校のジュニア奉仕団と連携をとっています。
篠岡児童館	・委員会には区長5名に全員出席していただいています。
副委員長	・地域といえども、地域割りについては難しいと思いますので、お聞きしたいと思います。 どこまで連携をとっていかはなかなか難しいところがありますが、地域性をものすごく重視されていますので気になりました。
北里児童館	・運営協議会はありませんが、区長さんへ館便りの回覧をお願いしています。
小牧南児童館 事務局	・運営協議会と月1回ミーティングを行い、イベントを行ったり小学校との連携をとっています。 ・児童館は中学校区に一つを目指し整備してきました。二つの中学校区に一つの児童館のところもありますが、地域の中に広く浸透していく様、展開できたらと思っています。よろしくをお願いします。
	(3)味岡児童館・北里児童館の指定管理者制度の導入について(資料3)・・・別紙報告 (4)児童館利用者アンケートについて(資料4)・・・別紙報告 (5)児童館における子ども服リユース事業について・・・別紙報告
3 議事	進行:山盛委員長
委員	(1)平成24年度児童館活動方針・活動目標(案)について(資料6)別紙にて説明
事務局	・活動目標(1)の児童の個別指導と集団指導はどのような内容でしょうか。 ・個別指導とは、工作やゲームなど一人ひとりにやり方を教え話をしながら関わることをいい、集団指導とは講座やクラブなど集団に親子遊びを教えることをいいます。
委員	・児童館が日ごろ行っていることは素晴らしく、否定するわけではありませんが、児童館として行うことの目的は指導にあたらぬのではないのでしょうか。子どもたちが自主的に来て遊んで、自分たちで想像を働かせていると思いますので、指導ということばは使わないほうがいいと思います。 児童館の役割は子どもたちが想像性を働かせるような場所と機会を充実していくことだと思います。 時には指導したり「いけませんよ」と言うこともあると思いますが、本来のものではないと思います。
委員長	・学校的な発想が入っていますが、もう少し児童館本来の活動方針を考えれば子どもたちの自由性を育てていく立場からいうと、強調していると思います。
部長	・最終目標が指導ではありません。親に対しても子どもに対しても、ちょっとした気配りやお手伝いが必要なことがありますので、そういった形で関わっていきます。指導という言葉は日本語として、適正を欠いた表現かと思いますが、表現方法を変えることでご理解がいただきたいと思っています。
委員長	・活動目標(1)の「指導」という表現を変えて承認。
	(2)平成24年度児童館定例クラブ活動・行事(案)について(資料7-1・2)・・・別紙説明

委員長	<ul style="list-style-type: none"> 承認されました。
委員長	<p>(3) 平成24年度児童館の子育て支援(案)について(資料8)・・・別紙説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 承認されました。
4 その他 部長	<ul style="list-style-type: none"> 各児童館の報告をふまえ、地域との関わりがまだまだ薄いのではないかと感じました。 <p>各児童館の進行状況は一律ではありませんが、中高生の居場所、子育て家庭の支援、地域に親しまれる児童館を目標に掲げさせていただきました。地域の学校、子ども会、区長、民生委員との連携を図り、意向を聞き入れて進めたいと思います。必ずしも運営協議会を作らなければならないとも思いませんが、こうした中で今後、自己満足に陥ることなく、不足している部分を地域と一緒に繋がりをもって運営してもらいたいと思います。</p> <p>来年から児童センター以外が指定管理になりますが、地元との初めの顔合わせは行政が繋いで支援をし、その後は指定管理者自身で、地元との関わりや、学校との連携を取っていただきたいと思います。</p> <p>みんなに親しまれる児童館にしていきたいので、これからも引き続き、各委員の皆様には支援の程よろしくをお願いします。</p>
会議終了	<ul style="list-style-type: none"> 大城児童館視察

平成24年度 第2回児童館運営委員会 会議録

日 時	平成24年2月16日(木)午前10時開始
場 所	大城児童館2階 多目的室
参加者	【運営委員】 山盛英二 伊木祥子 増田千文 丹羽孝糸 奥田志津賀 暮石定美 倉知俊夫 沖本喜久江 福永有可子 山下美和 【事務局】 舟橋部長 倉知課長 丹羽指導保育士 須崎課長補佐 鈴木センター長 丹羽館長 倉知館長 波多野館長 長谷川館長 佐尾山館長 山本館長 坪井館長 永井係長 益村担当
	【欠席者】 無
	【傍聴人】 無
司会	倉知課長
1 あいさつ 委員長	<p>・まだまだ寒い日が続いています。各小中学校ではインフルエンザが流行していましたが、少し落ち着いてきたようで、中3は受験が始まりますのでよかったですと思います。</p> <p>4月から少年センター所長を務めていますが、相談業務が12月末までに117件ありました。子どもは成長過程で多くを学んでいきますが、親がその機会を奪ってしまうため、子どもが育たず、自分で判断することができないようです。そういった内容の人間関係の相談が多くなっています。家庭内暴力の相談では、小中学校の時はよい子だったのに高校一年の10月から、突然暴れだしたという相談もありました。話を聞いていると母親が手をかけすぎている傾向があり、本人を信じて任せる機会を多くしたらどうですかと伝えました。</p> <p>また、骨折した生徒が状況を周りにうまく伝えられずに、いじめにあったという相談がありました。体験させる時に体験させていないのでなかなか子どもが育たず、こういった弊害がでてきています。その中で児童館の役割には意義があります。家庭や学校と違った場所で、子ども同士がある程度自由さをもちながら活動や体験をしていくことは、成長していく中で大切な位置を占めていると思います。児童館では、小中学生を積極的に取り入れて活動している現状を見させていただいております。本当にありがたいと思いながら、健全育成の立場でいろいろ巡回し意向を伺いながら、自分たちも力をいれていきたいと考えています。子どもたちにとっていい形で児童館が運営できるような会になるとよいと思います。そんな立場で皆さんからご意見がいただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。</p>
部長	<p>・前回の会議は7月に行われました。今は寒い日が続き小牧市内でもインフルエンザの流行がありました。教育委員会等で聞くところ、また岐阜県羽島市ではノロウイルスが広がっている様で引き続き各施設や児童館でも注意を払っていただいています。</p> <p>・小さい子どもの事件事故が後を絶たない昨今、お母さんがもう少し心配りをしてあげれば何とかならなかったのかと思います。子どもの成長は行政が児童館が一方通行のサービスの提供ではなかなかうまくいきません。自分の力で成長していける配慮を児童館の中で実践をしていきたいと思っております。新聞でご存知の方も見えると思いますが、小牧市は24年度の当初予算を発表しました。一般会計は518億円で、子育てを含む福祉の予算は、3分の1になってきています。過去9年連続して一番大きな割合を占めていますが、当然のことながら、高齢者の方、障がい者の方の施策も含めたもので、現在では群を抜いて福祉予算が比率が高くなってきています。</p> <p>・児童館関係につきましては、今年度から来年度の継続事業で、味岡児童館の建て替えをします。建物設計費を少し低くしすぎたことで、結果的に入札が8月に不調に終わって、その後検証する中で必要な予算を補正予算で確保し、去る2月8日に改めて入札を執行いたしました。なんとか入札が実施できまして、近いうちに市議会の方へ工事の請負契約の提案を出す予定です。味岡地区の各委員、関係者の皆様にご心配をおかけしましたこと、お詫びさせていただきます。3月末に契約、4月から着工、本年12月に完成し、実質オープンは来年1月中旬の予定です。</p> <p>・4月からは児童センターを除く児童館すべてが、指定管理者制度に移行します。各館、特色のある運営・子育て支援を実施していただけたと思っています。後ほど詳しく報告いたします。</p> <p>・本日の議事といたしましては、24年度からの各児童館・児童センターの活動方針・行事計画をご審議いただきたいと考えております。</p>

2 報告	(1)平成23年度児童館の現状報告(資料1-1~8)・・・別紙報告 (2)平成23年度児童館利用状況について(資料2)・・・別紙報告
児童センター 委員長	・個人任意利用者数の西部と大城が同じ数字になっています。後日正しいものを送ります。 ・いろいろな方に利用してもらいたと思いますが、来館者は同じ方が何度もいらっしゃるのか、いろいろな方が来てくださるのか、どのような傾向がありますか。
小牧南児童館	・クラブの利用者とちびっこなど2歳半までの小さい子の親子が多いです。 同じ方と、リピーターの方と半々ぐらいだと把握しております。
西部児童館	・イベントの7割は市外の人です。普段は市内と市外は半々ですが、イベントは混雑するので市内の方は敬遠されています。
委員	西部は市外の方が多いいということですが、他の児童館でも同じ状況がありますか。
大城児童館	・春日井市の方が、隣接していることや児童館の数が少ないので多く利用されます。
児童センター 副委員長	・プラネタリウムを併設しているため、休みの日など市外の方が待ち時間に遊んでいかれます。 ・地域との連携として、篠岡や大城児童館は年に何回か運営協議会が開かれています。 どの児童館にもいえることですが、地域に馴染んで地域に協力していただかないと、運営上なかなか難しいものがあると思いますが、児童館として地域の小学校や区長、民生委員へはどのような働きかけをしていますか。
西部児童館	・コミュニティ施設がありますので、地域運営協議会と連絡を取っています。
児童センター	・今までの経過からみてそのような体勢が出来ていないので難しいものがあります。
味岡児童館	・運営協議会はありませんが、中学校のジュニア奉仕団と連携をとっています。
篠岡児童館 副委員長	・委員会には区長5名に全員出席していただいています。 ・地域といえましても、地域割りにについては難しいと思いますので、お聞きしたいと思います。 どこまで連携をとっていかはなかなか難しいところがありますが、地域性をものすごく重視されていますので気になりました。
北里児童館	・運営協議会はありませんが、区長さんへ館便りの回覧をお願いしています。
小牧南児童館 事務局	・運営協議会と月1回ミーティングを行い、イベントを行ったり小学校との連携をとっています。 ・児童館は中学校区に一つを目指し整備してきました。二つの中学校区に一つの児童館のところもありますが、地域の中に広く浸透していく様、展開できたらと思っています。よろしくをお願いします。
	(3)味岡児童館・北里児童館の指定管理者制度の導入について(資料3)・・・別紙報告 (4)児童館利用者アンケートについて(資料4)・・・別紙報告 (5)児童館における子ども服リユース事業について・・・別紙報告
3 議事	進行:山盛委員長
委員	(1)平成24年度児童館活動方針・活動目標(案)について(資料6)別紙にて説明 ・活動目標(1)の児童の個別指導と集団指導はどのような内容でしょうか。
事務局	・個別指導とは、工作やゲームなど一人ひとりにやり方を教え話をしながら関わることをいい、集団指導とは講座やクラブなど集団に親子遊びを教えることをいいます。
委員	・児童館が日ごろ行っていることは素晴らしく、否定するわけではありませんが、児童館として行うことの目的は指導にあたらぬのではないのでしょうか。子どもたちが自主的に来て遊んで、自分たちで想像を働かせていると思いますので、指導ということばは使わないほうがいいと思います。 児童館の役割は子どもたちが想像性を働かせるような場所と機会を充実していくことだと思います。 時には指導したり「いけませんよ」と言うこともあると思いますが、本来のものではないと思います。
委員長	・学校的な発想が入っていますが、もう少し児童館本来の活動方針を考えれば子どもたちの自由性を育てていく立場からいうと、強調していると思います。
部長	・最終目標が指導ではありません。親に対しても子どもに対しても、ちょっとした気配りやお手伝いが必要なことがありますので、そういった形で関わっていきます。指導という言葉は日本語として、適正を欠いた表現かと思いますが、表現方法を変えることでご理解がいただきたいと思います。
委員長	・活動目標(1)の「指導」という表現を変えて承認。
	(2)平成24年度児童館定例クラブ活動・行事(案)について(資料7-1・2)・・・別紙説明

委員長	<ul style="list-style-type: none"> 承認されました。
委員長	<p>(3) 平成24年度児童館の子育て支援(案)について(資料8)・・・別紙説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 承認されました。
4 その他 部長	<ul style="list-style-type: none"> 各児童館の報告をふまえ、地域との関わりがまだまだ薄いのではないかと感じました。 <p>各児童館の進行状況は一律ではありませんが、中高生の居場所、子育て家庭の支援、地域に親しまれる児童館を目標に掲げさせていただきました。地域の学校、子ども会、区長、民生委員との連携を図り、意向を聞き入れて進めたいと思います。必ずしも運営協議会を作らなければならないとも思いませんが、こうした中で今後、自己満足に陥ることなく、不足している部分を地域と一緒に繋がりをもって運営してもらいたいと思います。</p> <p>来年から児童センター以外が指定管理になりますが、地元との初めの顔合わせは行政が繋いで支援をし、その後は指定管理者自身で、地元との関わりや、学校との連携を取っていただきたいと思います。</p> <p>みんなに親しまれる児童館にしていきたいので、これからも引き続き、各委員の皆様には支援の程よろしく申し上げます。</p>
会議終了	<ul style="list-style-type: none"> 大城児童館視察